

未来を担う子どものために  
あなたの力を貸してください。  
(保育実習生用)



社会福祉法人桜友会  
児童心理療育施設  
**桜学館**

# 桜学館とは・・・

- ▶ 児童福祉法第43条5
- ▶ 家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童を、短期間入所させ、または保護者の下から通わせて、社会生活に適応するために必要な心理に関する治療及び生活指導を主として行い、あわせて退所した者について相談を行うことを目的とした**岐阜県唯一**の児童福祉施設（児童心理療育施設）です。

# 児童養護施設と児童心理治療施設の違いは？ (働く上での違い)

- ▶ 総合環境療法が成立すること（詳細は後述で）

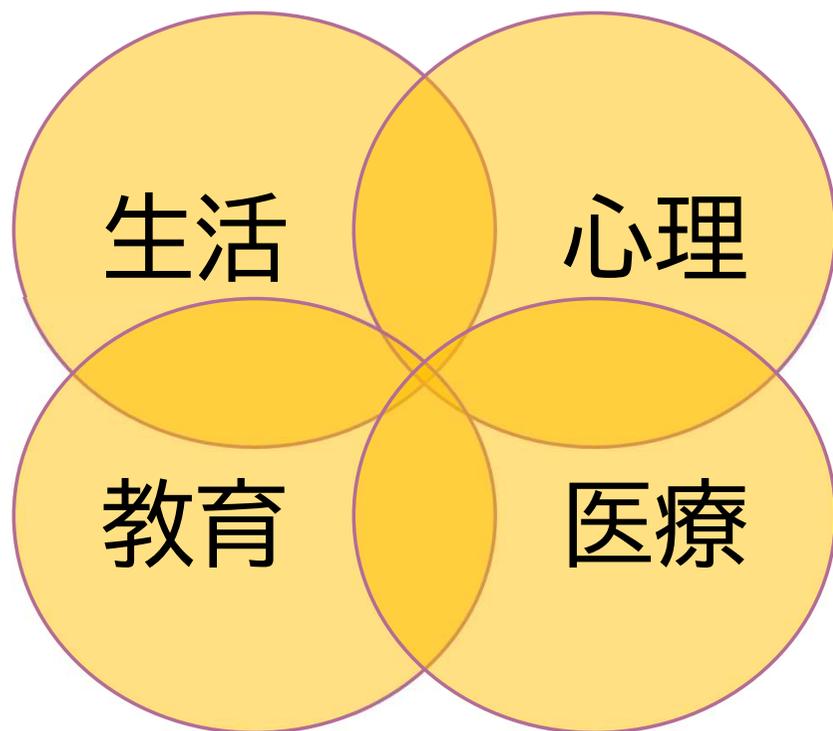
→どの子どもセラピーを受けていることと、徒歩1～2分にある学校（分級）に通っています。

- ▶ 生活職員だけでなく、常勤の心理士が複数名在籍し、セラピーの様子や生活の様子を含めた様々な会話が密にできることが大きな強みです。一人で抱え込まず、たくさんの視点から意見をもらえたり、話したりすることで、支援内容を深められたり、自分自身の公私共に成長や安定に繋がれることができます。

# どのような子どもが入所するの？ 入所の方法は？

- ▶ 愛着に課題を抱えていたり、発達に課題を抱えていたりする子が現在多く入所しています。また、心理的不安を抱えて不登校になっているような子も入所しています。
- ▶ 入所に関しては、子ども相談センターの措置によって、入所が決定しています。

# 総合環境療法



- ▶ 生活・心理・教育・医療がそれぞれの役割を担って子どものケアや発達を多方面からアプローチします。
- ▶ 福祉的視点と医療的視点と教育的視点

# 桜学館はユニット制を採用しています。

- ▶ ユニットは本館に4ユニット・新館に2ユニットあります
- ▶ 本館3Fでは、小規模ユニット（定員8名）の光・空（男子ユニット）
- ▶ 本館2Fでは、小規模ユニット（定員8名）の虹・学童（男子ユニット）
- ◆ 新館では、分園型小規模ユニット（定員6名）の風・星（女子ユニット）
- ▶ ユニット職員は、心理職も含め5名所属し、生活を共にしています。

# 職員構成

▶ 施設長	1名
▶ 生活部長	1名
▶ FSW（家族支援担当職員）	2名
▶ 個別担当職員	1名
▶ 基幹的職員	1名
▶ 看護師	1名
▶ 事務員	1名
▶ 児童指導員・保育士	16名
▶ セラピスト	6名(非常勤1名)
▶ 医師	5名(全非常勤)
	<u>総数28名</u>

# 職員勤務形態

- ▶ 早番 7:00~16:00
- ▶ 遅番 13:00~22:00
- ▶ 日勤 9:00~18:00  
10:00~19:00
- ▶ 宿直 13:00~翌日15:00

(月4~5回程度)

※残業は多くて月10時間程度(超過勤務手当はすべて支給する)

(ユニット会議や外部会議・行事等のために早く出勤したり、延長したりすることがあります。)

# 桜学館の強み

## ▶ 学べる施設

- ▶ 様々な研修へ参加・・・子どもを正しく理解するための研修(SS/SST/TIC/愛着など)
- ▶ SVの開催・・・・・・・・・・・・・月1回心理（岐阜大学の臨床心理の教員〈セラピーの検証〉  
・月1回児童精神科医〈子どもへの医療的ケア〉  
・年4回京都から臨床心理士〈家族療法〉)
- ▶ 計画的職員研修・・・・・・・・・・施設長の社会的養護10コマ
- ▶ 部長・主任による新人教育・中堅職員研修
- ▶ 月1回のケースカンファレンスと学習会を実施

## ▶ 職員の権利保障を目指している施設

- ▶ 子どもの権利擁護と職員のメンタルケア・・・権利擁護委員会（アンケート実施）
- ▶ 施設長面談年2回・部長主任面談年2回
- ▶ 継続勤務の実施・超過勤務手当の実質実施・・・月に40時間まで
- ▶ 苦情解決システム・・・・・・・・・・・・・・・・BOXを配置（施設長が話しやすい(笑)）
- ▶ お互いが話しやすい雰囲気・・・・・・・・・・・・申し送りや会議を重視(共有)



現役職員が思う、  
桜学館に就職した理由  
勤務し続ける理由



# 桜学館で働こうと思い、続けている理由は…？①

もともと子どもとかかわる仕事がしたいと思っていました。幼稚園・保育園も考えていましたが、生活の場面で支援ができればいいなと思っていました。応募するきっかけは、実習をした時に職員間の雰囲気のよさを感じ取り、私も一緒に働きたいと思いました。

日々の支援の中で、子どもたちがやることにうまくいかず困っていたり、荒れていたたりすることを目の当たりにすることで、うまく支援できずに苦しい場面もありますが、ささやかにうまくいったときや、子どもの小さな変化を目の当たりにしたときに救われたなと思っています。また、困ったときに、先輩方に気遣いすることなく支援の仕方を相談できることや、ユニットで一つの目的（支援）に対して、全員で向かうことのすばらしさを体感できることも私にとって働き続けたいと思う理由です。

20代 児童指導員（新卒採用） 女性（2年目）

## 桜学館で働こうと思い、続けている理由は…？②

以前、学校で勤務していて、教育の現場では、力を引き上げられることはできても、生活ベースを作ってあげられることが難しく感じました。生活ベースを立て直すことを学び、子どもたちの少しでも力になればと思い転職を決意しました。

私が指導員を続けていられるのは、共に子どもの変化を日に日に感じられることです。勤続年数を重ねてきたことで、今まで子どもと対峙してきたことが対話や原因を考えることを通して、成長していることを実感したり、一人ひとりの変化を楽しむことができたりするようになってきました。また、家族と繋がっていくことで、子どもへのニーズを提示できるプランを思いついて子どもと一緒に歩いていけているのが楽しくなってきました。

30代 児童指導員（社会人経験） 女性（5年目）

## 桜学館で働こうと思い、続けている理由は…？③

自分が経験してきた生活とは異なる子どもの生活を目の当たりにすることが、面白く刺激的に思っています。また、短いセラピーの時間の中だけでは理解しきれない子どもの様子を一緒に過ごすことでより理解が深められることが桜学館で働くよさだと考えています。

そして、子どもから学ばせてもらうことが多々あることも続けたくなる理由です。

20代 セラピスト

男性（5年目）

## 桜学館で働こうと思い、続けている理由は…？⑤

短大時代に保育園や幼稚園・施設の実習をし、自分でやって行けるのは施設だと思い、施設への就職を希望しました。実際に働いてみると、いろんな生い立ちを持って入所してくる子ども達と向き合う中で、上手く行かなくて辛い・苦しいことや“もう辞めたい！”と涙を流すこともありましたが、それよりも子どもたちが自分の力を信じて成長し、喜びや感動を私たちに与えてくれることや、桜学館を退所した子どもたちが社会の中で頑張って生活している姿を見たり聞いたりすることも、この仕事を続けられる理由だと思っています。

20代 児童指導員（短大新卒採用） 女性（9年目）

## 桜学館ではこのような職員を求めています。

※私たち大人は、子どもたちに何を求めているのでしょうか※

それは、自分を見つめ、どんな自分になりたいのか考えることのできることを願っています。そして、一緒に考えてくれる大人がそばにいることを実感してほしいと思っています。

◇だから私たちはどんな大人でなければいけないのでしょうか

- ♡自分と向き合える人
- ♡自分に願いが持てる人
- ♡仲間とともに成長を喜べる人
- ♡感情コントロールできる人